

## ○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告された観光スポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和5年12月定例会

### 観光スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、ソウル線・釜山線の利用状況と利用促進についてであります。

このことについて一部の委員から、現在の利用状況や利用促進の取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、ソウル線は10月末のデイリー運航後も8割を超える搭乗率を維持し、アウトバウンド利用者も再開当初と比較して増加傾向にある。

また、11月10日から新規就航した釜山線は、搭乗率が9割程度と大変好調であり、釜山から本県への旅行需要が非常に高く、乗客の9割がインバウンド利用となっている。

現在、インバウンド利用が圧倒的に多いことから、受入態勢整備のための事業者向け補助制度を創設し、環境整備を支援している。また、路線維持にはアウトバウンド利用も重要であり、旅行会社への商品造成支援などに引き続き取り組むとともに、若年層の利用拡大に向け、大学等の教育機関と連携した情報発信等にも取り組んでいる旨の答弁がありました。

第2点は、高校入試における特色入学者選抜の導入についてであります。

このことについて一部の委員から、導入目的や主な変更点、効果や期待はどうか。また、今後どのように準備を進めるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、特色入学者選抜は県立高校の魅力化の取組みを入試制度の面から後押しするため、来年度から導入するもので、中学校長の推薦が不要となるほか、各校では、募集定員の30%又は50%程度を上限とした募集人員枠と特色に応じた検査項目の設定が可能となる。また、中学生には、自らの学ぶ意欲や活動実績等をアピールできるよう目的意識をもって学校生活を送り、その成果を堂々と発表する態度の涵養が期待できる。今後、中学校向け相談窓口を開設し、来年3月に中学生や保護者向けの説明資料を配布するほか、

5月頃には各校の募集人員や検査項目等の概要を周知することとしており、安心して入試に臨めるよう準備を進めたい旨の答弁がありました。

第3点は、薬物事犯の検挙状況等についてであります。

このことについて一部の委員から、県内における薬物事犯の検挙状況や、若年層の大麻等の使用増加に対する今後の対策はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、令和4年の検挙人員は、117人と前年比で9人減少しており、内訳は、覚醒剤事犯が53人、大麻事犯が63人、麻薬及び向精神薬事犯が1人である。

薬物事犯全体に占める大麻事犯は、令和3年の39.7%に対し、令和4年は53.8%と増加が顕著であり、検挙した63人中、20代以下が44人と全体の約7割を占めるなど、若年層における薬物乱用問題が生じている。

本年10月末現在、薬物事犯で検挙された少年は4人で、いずれも18歳、19歳の若者であり、引き続き、学校等の関係機関と連携し、薬物乱用少年の早期発見、補導に努めるほか、薬物乱用防止教室の積極的な開催により、その危険性を周知徹底していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・美術館文化観光推進事業
- ・豪州等からのサイクリスト誘客
- ・いじめの現状と今後の取組み
- ・フリースクールへの支援
- ・「愛媛県警察まもるナビ」の利用状況
- ・警察犬の活動状況

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。